

学区内水災ポテンシャル評価と水災時の分団対応力強化活動

日時： ①2015年07月24日 08時00分～12時30分 ②2015年09月27日 09時00分～11時00分

場所： ①松ヶ崎井出ヶ鼻井堰 ②学区内前川周辺及び松ヶ崎井出ヶ鼻井堰

高野川から松ヶ崎学区に農業用水や消火用水を取り込む水門（井出ヶ鼻井堰）があり、農業関係者と協力して水路整備訓練を実施しています。①は消防団員7名と農業関係者4名の計11名、②は消防団員が8名と10名に分かれ、農業関係者4名を含め総勢22名の体制で取り組みました。井堰における活動は、実際に河川内に入って訓練を実施するため、安全かつ効果的な手法を取らなければなりません。右図（上）に示す斜線域が、「京都市災害マップ」における松ヶ崎学区内の災害警戒域（傾斜度30°以上、高さ5m以上で人家が近くにある場所）であり、平時から水災害対策や予防活動を実践することで、有事での分団対応力を高める狙いがあります。

水災害対策として、井堰では堆積土砂の掻き出し、土嚢壁構築を実施します。水位が高く、水流が激しい場合は命綱を設置して、安全性を重視した取り組みから技量を培うようにしています。（写真中）また、旧街道に沿って流れる前川の堆積土砂等は、放置しておく道路冠水や住宅地への浸水を招きます。井堰同様に土砂等の掻き出し、北山通り地下に設置されている共同排水口付近は定期的に清掃活動を行い、これら水災害を未然に防ぐ取り組みを励行しています。（写真下）

近年、妙法の山の保水力が危惧され、台風やゲリラ豪雨により学区内の排水ポテンシャルは著しく低下しています。自然災害に対する備えは、日常からの防災意識が大切であり、上記の訓練を通じて危険域に対する分団の対応力を強化しなければなりません。



町内会を基盤とした訓練を！

松ヶ崎学区自主防災連合会 会長 中島照泰

あけましておめでとうございます。家族揃いで希望に満ちた新しい年を迎えられました事と心よりお慶び申し上げます。

自主防災会は、町内別に第一から第八までのブロックに区分されており、そのもとに29の防災部があります。昨年は各ブロックにおいて訓練を実施させていただき、参加されました方々から積極的な意見や質問が生まれて、身近な訓練の成果があったように思いました。これからも町内会を基盤とした身近な所での訓練を心掛け、町内の皆様方と一緒に災害や防災に対する関心を高めていきたいと思っております。

昨年は色々な事がありました。7月の大雨の時には崩崩れを心配され避難したいとの住民の要望を受け、松ヶ崎小学校講堂に7月16日23時30分から翌17日4時50分迄避難所を開設しました。松ヶ崎自主防災会が発足して初めての避難所開設でしたが、避難された2名の方は無事にマンションへ帰宅されました。また、京都工芸繊維大学の東3号館（ノートルダム館）・体育館・武道場の3ヶ所が避難所として、大学側より承諾をいただきました。これには地域の皆様方のご尽力があって実現した賜物と厚く感謝申し上げます。学区の中心に避難所が出来たことは、学区民の方々には非常に心強く感じていただける事と思っております。

これからも松ヶ崎消防分団のご指導・ご支援を得まして、災害等に適切な対応ができる自主防災を心掛けたいと考えておりますので皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

火災のない災害に強いまちづくりを目指して

左京消防署 署長 村林 幹夫

新年明けましておめでとうございます。平成28年の輝かしい新春を御健勝でお迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。

日頃より消防行政の推進に格別の御支援御協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、昨年、松ヶ崎学区におかれましては、無火災を達成されました。これも偏ら、松ヶ崎消防分団の皆様のご火災撲滅を願う昼夜を分かたぬ消防団活動と、松ヶ崎学区の皆様の日頃よりの防火のお取組とが結実したものと感謝申し上げます。

近年、全国を顧みますと、火災はもとより今までの豪雨で河川堤防が決壊するなど甚大な被害もたらされ、改めて自然の驚異と災害への備えの重要性を痛感し、引き続き、いざという時に自ら考え行動できる人づくり・地域づくりを推進していかなければならないと考えております。

左京消防署では、本年も地域でご活躍をいただいております松ヶ崎消防分団の皆様と共に、「地域密着型の消防」と「力強い消防」を目指し、災害に強いまちづくりに併せ、焼死者防止対策と出火防止対策に総力を挙げて取組み、消防の使命達成に邁進してまいりますので、今後も松ヶ崎学区の皆様のご支援御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたりまして、松ヶ崎学区の今後益々のご発展と火災のない災害に強いまちづくりが一層推進されますことを心から願ひまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

新入団員の紹介



山田茂昭

平成27年4月に入団させて頂いた山田茂昭です。松ヶ崎東町に転入したばかりですが芝山団長に背中を押されて入団しました。入団半年間に無火災推進日巡回広報、消防団総合査閲訓練、井出ヶ鼻井堰水災訓練泥あげ、妙法送り火警備、水路整備活動、防災訓練と経験させて頂き団長はじめ団員の方々の結束と熱意に大変感銘を受けました。

現在両親の介護をしながらの活動になりますが、少しでも地域のお役にたてるよう尽力していく所存ですので、よろしくお願ひ申し上げます。



佐々木啓太

平成27年7月付けで入団致しました佐々木啓太です。ここ松ヶ崎に住んで15年程になります。職業は松ヶ崎でオートバイの販売、修理をしております。学生時代はサッカー、ラクロスをやっており、体力には自信があったのですが、年々、体力の衰えを感じていた昨今、芝山分団長より熱心に入団勧誘を頂きました。地域活動へ力になりたいと思い自身の健康のため、入団致しました。

子供達の明るい未来のため、地域活性のため、がんばっていきたく所存であります。先輩方、ご指導どうぞよろしくお願ひします。

松ヶ崎消防分団に入団ご希望の方は、京都市消防局左京消防署（左京区田中西大久保町36番地/電話：075-723-0119）までお問い合わせください。

消火器を備え、火災警報器（定期的な電池交換）は適切なものを設置しましょう。

京消防団松ヶ崎消防分団員

	第1班 【東&北東】	第2班 【中&南】	第3班 【西&北西】
分団長	芝山 宗昭	部長 樋口 晶弘 (教育担当)	部長 矢野 博敏 (予防担当)
副分団長	西郡 藤夫 (総務担当)	部長 三宅 祥文 (警防担当)	班長 梅津 康正 (警防担当)
副分団長	京極 康生 (予防担当)	班長 卯野 貴也 (総務担当)	班長 才津 和範 (予防担当)
副分団長	河村 栄二 (警防担当)	班長 島内 研 (予防担当)	団員 佐橋 学
副分団長	蒔田 桂三 (教育担当)	団員 藤井 照夫	団員 宇佐美賢一
	部長 三宅 勝 (総務担当)	団員 板垣 晋	団員 半井 達弥
	部長 山田 勉 (警防担当)	団員 佐々木啓太	団員 今西 謙介
	班長 山田 徹 (教育担当)		
	団員 高 靖敏		
	団員 山田 信推		
	団員 山田 茂昭		

永く松ヶ崎消防分団に貢献された北川憲一様及び木村宏章様は、平成27年3月末付けで退団されました。ご苦勞様でした。尚、昨年度の歴代団員様ご紹介にて信次金藏様（昭和34年入団）の記載漏れがありましたこと、謹んでお詫び申し上げます。

松ヶ崎消防分団
ホームページ
【松ヶ崎学区自治連合会監修】



パソコン版

